

**第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園テレビ番組制作及び広報業務委託  
公募型プロポーザル審査要領**

標記業務委託を実施するに当たり、契約の締結先として最もふさわしい者を選定するため、提出のあった企画提案の審査を下記のとおり実施する。

記

**1 審査会の設置**

(1) 審査会の名称

第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園テレビ番組制作及び広報業務委託公募型プロポーザル審査会

(2) 構成人数

審査員の数は4名とする。

**2 審査の進め方**

提出された企画提案書等について、提案者からのプレゼンテーション及び提案者との質疑応答を受けて審査する。

**3 評価・選定方法**

各委員が、下記の評価項目の評価の視点ごとに5段階で評価を行い、その評価点に「配点」欄の括弧書きで記載する倍数を乗じたものの合計点（100点満点）をその提案者の得点とする。

委員4名の合計得点が高い順に順位付けを行い、最高順位者を最優秀提案者に選定する。

なお、合計得点が同点の場合は、委員の多数決により順位を決定する。

評価項目	評価の視点	配点	項目合計
目的の理解	・全体を通じて事業目的を正しく理解し、企画に反映させているか。	5点（×2）	10点
番組内容	・視聴者の興味関心を引く内容になっているか。 ・視聴者に理解しやすい内容になっているか。 ・大会のPRに寄与する内容になっているか。	5点（×3）	45点
	・視聴対象エリアは広いか。 ・視聴対象人数は多いか。	5点（×2）	
	・放送時期は高い視聴率が期待できるか。 （放送の時間帯、曜日、時期、再放送等の観点）	5点（×1）	
	・延べ放送時間は長いか。	5点（×1）	
	・事後評価の内容は効果的か。	5点（×1）	
	・情報保障、その他障がい特性に配慮された番組制作が行われているか。	5点（×1）	
広報企画	・番組の視聴率を高める効果的な取組が行われているか。	5点（×2）	30点
	・大会をPRする効果的な広報活動が行われているか。	5点（×2）	
	・広報用のテレビ放送の時間、時期、回数等は十分か。	5点（×2）	
制作体制	・業務を確実に実施できる体制か。 ・計画的で無理のない業務スケジュールとなっているか。 ・スポンサー等、他団体の協力は得られるか。	5点（×1）	5点
業務遂行能力	・過去の実績や質疑応答から、十分な業務遂行能力があると判断できるか。	5点（×1）	5点
見積価格	5点×（1－（見積価格（税込価格）／予算額））	5点	5点
合計	100点	100点	

※ 評価基準は次のとおりとし、絶対評価により評価する。

評価点	評価基準
5点	非常に優れている。
4点	優れている。
3点	標準的である。
2点	劣る。
1点	非常に劣る。

※ 見積価格の計算式において、小数点以下は四捨五入する。